I·O DATA

USB接続30万画素
ビデオチャット用カメラ

USB-CAM30MV セットアップガイド

M-MANU150982-02

本製品のインストールおよび使い方について説明します。Macintoshをお使いの場合は、本書裏面の【Macintoshをお使いの場合】をご覧ください。
本書では基本的な操作について説明しています。
詳しい説明はオンラインマニュアルをご覧ください。

Windows XP/2000/Me/98 SEをお使いの場合

本書では、Windows 98 Second Editionは98 SEと表記します。
Macintoshをご利用の場合は、裏面をご覧ください。

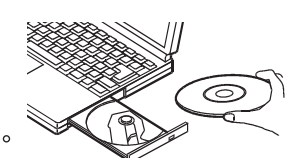
1 インストールする

本製品を使用するためにはサポートソフトをインストールする必要があります。以下の手順でインストールを行ってください。

注意 以下の作業は、USBポートに本製品を接続する前に行ってください。

❶ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。
Windows XP/2000をお使いの場合は、コンピュータの管理者（Administrators）のアカウントでログオンしてください。

❷ 添付のサポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。

❸「オートランメニュー」が表示されます。

ここをクリックするとヘルプが表示されます。

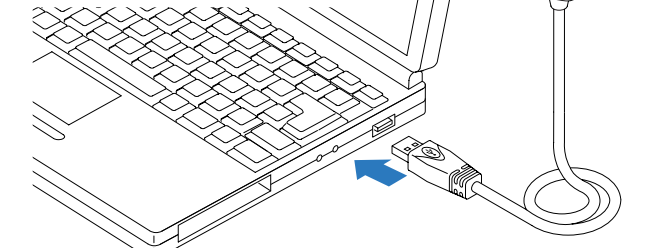
※Adobe Readerがインストールされている必要があります。
※自動で表示されなかった場合は、添付のCD-ROM内のSetup.exeをダブルクリックしてください。

■DirectX 9.0について
本製品を使うには、DirectX 8.0以降が必要です。
※DirectXについては、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

❹［ドライバのインストール］をクリックします。

❺［次へ］ボタンをクリックします。以降、画面の指示に従い［次へ］ボタン ➡［インストール］ボタンをクリックします。

❻［完了］ボタンをクリックします。
インストール作業は完了しました。

❼ 本製品をパソコンのUSBポートに差し込みます。

この後、Windows XP/2000の場合、「追加作業」へ進む

Windows Me/98 SEの場合、**2**へ進む

Windows XPの追加作業

❶ 本製品装着後、下の画面が表示されますので、[ソフトウェアを自動的にインストールする]にチェックがついていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

❷［続行］ボタンをクリックします。

❸［完了］ボタンをクリックします。

正常にインストールが終了すると、左記のような画面が表示されます。

Windows 2000の追加作業

本製品装着後、下の画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。

参考 弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社はWHQLという組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。

2 インストール終了後の確認をする

インストールが終了したら、パソコンが本製品を正しく認識するかどうかの確認を行います。

❶ デバイスマネージャを起動します。

■Windows XPの場合
[スタート] ➡ [マイコンピュータ]を右クリック ➡ [プロパティ] ➡ [ハードウェア]タブ ➡ [デバイスマネージャ]ボタンを順にクリックします。

■Windows 2000の場合
[マイコンピュータ]を右クリック ➡ [プロパティ] ➡ [ハードウェア]タブ ➡ [デバイスマネージャ]ボタンを順にクリックします。

■Windows Me/98 SEの場合
[マイコンピュータ]を右クリック ➡ [プロパティ] ➡ [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]にチェックします。

❷ 確認します。
① [イメージングデバイス] の左にある ＋ をクリックします。
➡ その下が表示されます。
② [USB-CAM30M Series] があることを確認します。
これが、本製品のドライバです。

イメージング デバイス
USB-CAM30M Series
クリック
確認する

❸「デバイスマネージャ」を閉じます。
画面右上にある ✕ をクリックします。

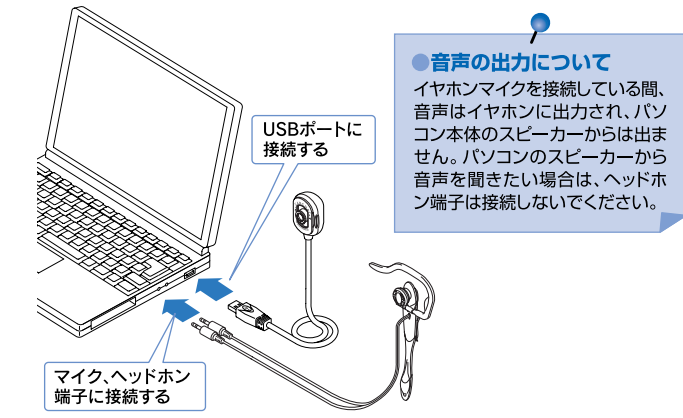
3 使い方について

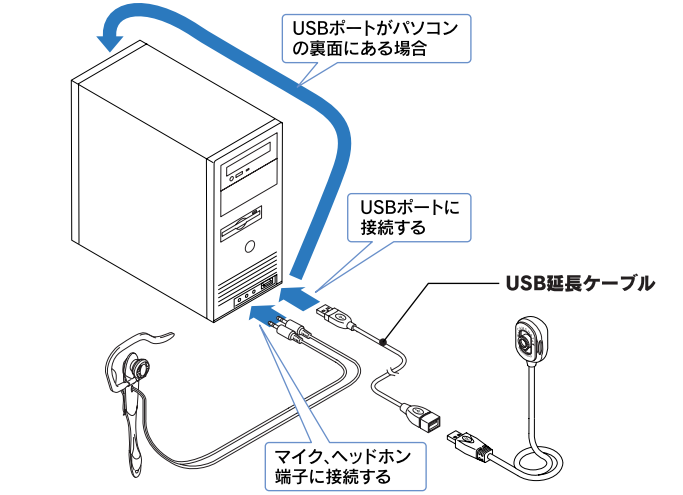
本製品を使用する場合の基本的な使い方を説明します。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

注意
●サウンドボリュームを上げすぎない
サウンドボリュームが大きすぎると、耳を痛めるおそれがあります。お使いの環境に合わせて、最適なボリュームに設定してください。
●USBポート、ヘッドホン端子、マイク端子の場所について
パソコンまたはサウンドカードによって異なります。詳しくは、パソコンまたはサウンドカードの取扱説明書をご覧ください。

●ノートパソコンに接続する場合　下の図のように接続します。

●音声の出力について
イヤホンマイクを接続している間、音声はイヤホンに出力され、パソコン本体のスピーカーからは出ません。パソコンのスピーカーから音声を聞きたい場合は、ヘッドホン端子は接続しないでください。

●デスクトップパソコンに接続する場合　下の図のように接続します。

本製品を取り外す

❶ カメラを使うソフトウェアを全て終了します。
操作は、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

❷ 本製品をUSBポートから取り外します。

4 ビデオチャット（テレビ電話）について

ビデオチャット（テレビ電話）について説明します。

「IP電話」、「IPフォン」、「インターネット電話」など「ビデオチャット」、「テレビ電話」とよく似た言葉が使われていますが、広い意味では全て「IP網を使った通話」のことを表します。しかし、BBフォンなどの普通の電話機で通話ができるものと、パソコンを使って通話をするものでは使い方が異なります。パソコンでは音声だけではなく、映像を使用することもできることから、「テレビ電話」、「ビデオチャット」と言われています。

●ビデオチャット（テレビ電話）に必要なもの
カメラ、マイク、スピーカー（イヤホンマイク）とパソコン。そしてインターネット。
これさえあれば、後はWindows Messengerなどを使ってビデオチャットが楽しむことができます。また、ADSLなどの常時接続型のブロードバンドサービスなどを利用すれば、電話代を気にすることもありません。

●ビデオチャットサービスについて
ビデオチャットサービスの設定や使い方についてのお問い合わせは、弊社ではお受けできません。各サービスの提供元にお問い合わせください。

ビデオチャットを楽しむ

本製品をパソコンに接続することにより、Windows Messenger、MSN Messenger、Yahoo!メッセンジャー、NetMeetingなどを使ったビデオチャットを楽しむことができます。

●Windows Messengerについて
Windows XPに標準に添付されているビデオチャット機能搭載のインスタントメッセージングソフトです。Windows Messengerでビデオチャットをするには以下の条件を満たさなくてはなりません。
■双方が使用しているOSがWindows XPであること。
■双方がWindows Messengerを使用すること（片方がMSN Messengerは不可）。
■双方のパソコンにカメラが接続されていること。
■ルーターをご使用の場合、ルーターが「ユニバーサルプラグアンドプレイ」に対応していること。（対応については、各ルーターのメーカーにお問い合わせください。）

●MSN Messengerについて
MSNが提供しているソフトウェアです。MSNのホームページから無料でダウンロードすることで使用できます。最新のバージョン6では、WebCam機能が追加され、NetMeetingを起動しなくても手軽にビデオチャットが楽しめるようになりました。チャット画面のデザインが変更できたり、対戦型のゲームができたりと、多くの機能が搭載されいろんな楽しみ方ができます。
Windows Messengerとの間では、文字（テキスト）チャットはできますが、ビデオチャットは使用できません。Windows XPを使用している相手とビデオチャットをするためには、Windows XP側にもMSN Messenger6をインストールしMSN Messenger6同士でご利用ください。

●Yahoo!メッセンジャーについて
Yahoo!メッセンジャーは、Yahoo!が提供しているインスタントメッセンジャーサービスです。テキスト（文字）チャット機能だけではなく、音声チャット、ビデオチャット、さらには、オークション、株価、カレンダーなどをお知らせするアラート機能を搭載。さらには、IMテーマを変えると、文字チャット画面のデザインが一瞬に変更されるなど、ユニークな機能が数多く搭載されています。
また、Yahoo!掲示板では、メッセージを書き込んだ人の名前の横に、メッセンジャーのアイコンが表示され、オンラインであればその人とメッセージ交換が直接できるなど、Webサイトと連携したサービスが提供されているのが特徴です。
さらに、導入や設定が比較的簡単な事から初心者でも手軽に始めることができます。

●ユニバーサルプラグアンドプレイ（Universal Plug and Play:UPnP）
ネットワークに接続されたデバイスのPlug and Playを行なう技術です。Windows XPからは、対応ルーターから情報を取得したり、必要に応じてルーターの設定を変更したりといったことが可能になります。
それにより、メッセージングソフトやネットワークゲームを使用する際に、アプリケーションが自動的にルーターをセットアップするといったことが実現できます。

●ビデオチャットソフトの操作説明について
ここでは、MSN Messenger、Yahoo!メッセンジャーで映像を扱うための設定についてのみ説明します。なお、弊社ではこれらのソフトウェアに関するサポートは行っておりません。
詳しい操作方法については、それぞれのヘルプをご覧いただくか、各ソフトメーカーにお問い合わせください。

●ビデオチャットソフトで正常に動作しない場合は？
各ビデオチャットソフトで動作に異常が生じる場合、本書［5.動画や静止画を撮影する］における本製品の動作をご確認ください。正常に動作する場合については、ビデオチャットソフト側の設定に起因する事が考えられます。
各ソフトメーカーにお問い合わせください。

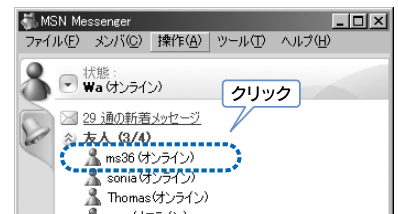
MSN Messenger6を使う

❶ MSN Messengerを起動します。
MSN Messengerでメッセージを送ることができる状態にしておいてください。
※MSN Messengerがインストールされていない場合は、MSNのサイト（http://messenger.msn.co.jp）からダウンロードしてください。また、NET Passportを取得していない場合は取得してください。

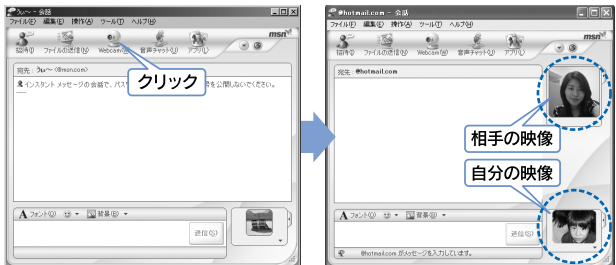
❷ カメラ、イヤホンマイクを接続します。

❸「オーディオとビデオのチューニングウィザード」を起動します。
［ツール］➡［オーディオとビデオのチューニングウィザード］の順にクリックします。
➡「オーディオとビデオのチューニングウィザード」が起動します。

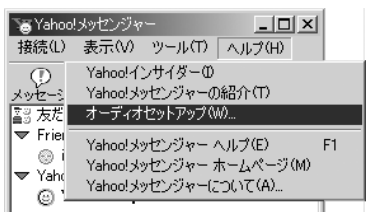
❹ 操作手順はオンラインマニュアル【Windows Messengerを使う】の手順4～10を参照してください。

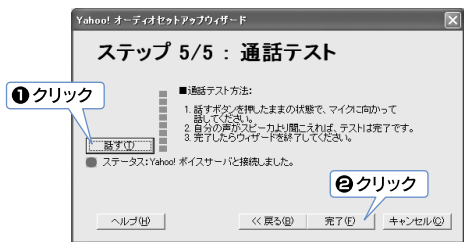
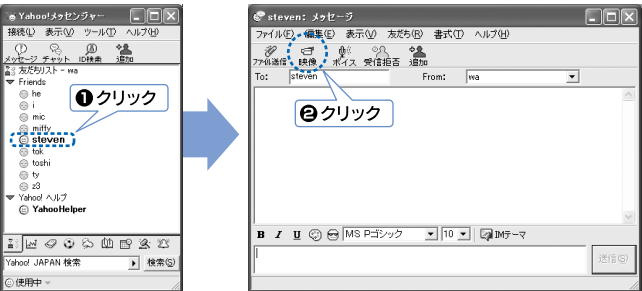
❺ MSN Messengerの最初の画面でビデオチャットをする相手をクリックします。

裏へ続く

❻ 文字チャット画面が表示されたら相手に文字でメッセージを送って、ビデオチャットに誘ってから、[Webcam]アイコンをクリックします。
➡ 相手の映像が右上に表示されます。

Yahoo!メッセンジャーを使う

❶ Yahoo!メッセンジャーを起動します。
Yahoo!メッセンジャーでメッセージを送ることができる状態にしておいてください。
※Yahoo!メッセンジャーはYahoo!JAPAN(http://www.yahoo.co.jp/)からダウンロードしてください。また、Yahoo!メッセンジャーを利用するにはYahoo!JAPAN IDが必要です。

❷ カメラ、イヤホンマイクを接続します。

❸「オーディオセットアップウイザード」を起動します。
[ヘルプ] ➡ [オーディオセットアップ]の順に起動します。
➡「オーディオとビデオのチューニングウィザード」が起動します。

❹ [次へ]ボタンをクリックします。
以降は画面の指示に従って進めてください。

❺ 下の画面が表示されたら、[話す]ボタンを押して通話テストをします。
終了したら[完了]ボタンをクリックします。
これで、準備は完了です。ビデオチャットを始めてみましょう。

❻ Yahoo!メッセンジャーでオンラインになっている友達のアイコンをクリックし、文字でメッセージを送って相手がパソコンの前にいることを確認し、[映像]ボタンをクリックします。

❼ 映像が映っていて、ステータスバーに[公開中]と表示されていればスタンバイOKです。映像を見せたいお友達のアイコンで右クリックし、[自分の映像を見せる]をクリックすると相手には[映像を見ますか?]という確認メッセージが表示されます。相手が[見る]を選択すると、ステータスバーに1人がアクセス中と表示されます。

❽ ビデオの設定をします。
「自分の映像」画面でビデオの設定をすることができます。
[ファイル] ➡ [ビデオの設定]の順にクリックします。

5 動画や静止画を撮影する

本製品で、動画または静止画を撮影する手順を説明します。

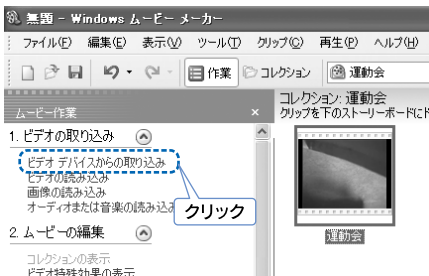
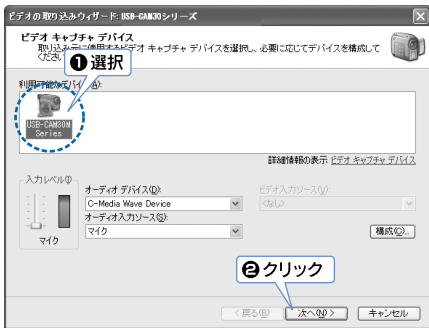
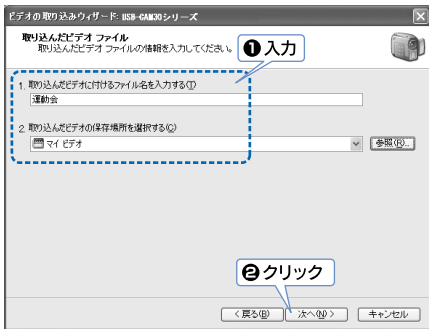
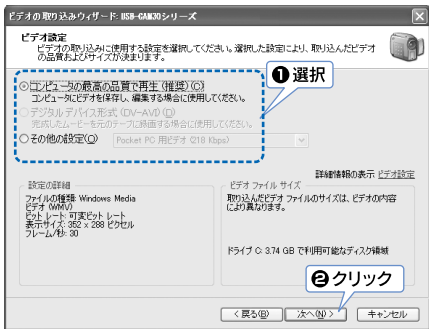
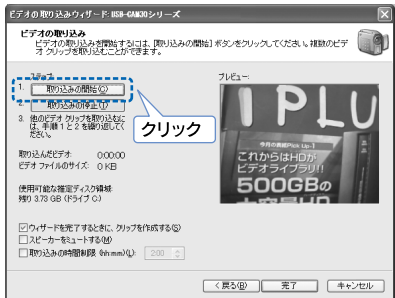
動画を撮る

本製品のカメラで動画を撮る方法について説明します。
本製品には、動画キャプチャソフトとして[I-O DATA CAMCAP]を同梱しておりますが、ここでは、Windows XPに標準で添付されている「Windowsムービーメーカー(Version 2)」を使って動画を撮る方法について説明します。

> **●[I-O DATA CAMCAP]について**
> 使用方法については、[I-O DATA CAMCAPヘルプ]をご参照ください。

❶ カメラを接続します。

❷「Windowsムービーメーカー」を起動します。
[スタート] ➡ [プログラム] ➡ [アクセサリ] ➡ [Windowsムービーメーカー]の順にクリックします。

❸「ビデオデバイスからの取り込み」を選択します。

❹ [利用可能なデバイス]からUSB-CAM30M Seriesを選択します。

❺ ファイル名と保存場所を入力します。

❻ ビデオの取り込みに使用する設定を選択します。

❼ ビデオを取り込みます。

❽ 録画を終えるときは、[取り込みの中止]ボタンをクリックします。
➡ 録画が終わります。

❾ 完了ボタンをクリックすると、最初の画面に戻ります。
➡ プレビュー画面で確認できます。

> **●撮った動画の再生について**
> Windowsに添付されている、Windowsメディアプレーヤーなどをお使いください。

静止画を撮る

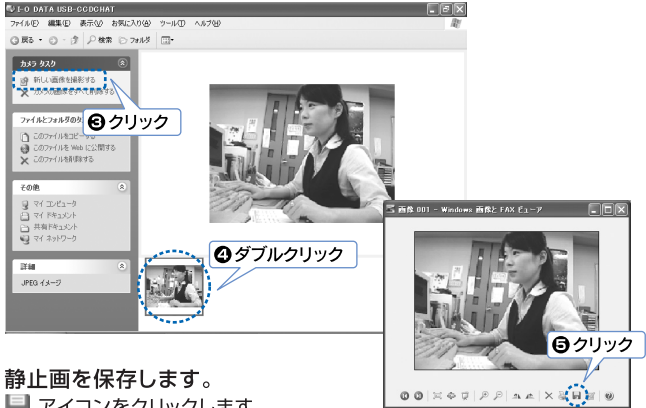
本製品のカメラで静止画を撮る方法について説明します。本製品には、静止画キャプチャソフトを同梱しておりません。静止画を撮るには、市販の静止画キャプチャソフトをお使いください。ここでは、Windowsに標準で添付されている「イメージング」などを使って静止画を撮る方法について説明します。

Windows XPの場合

❶ カメラを接続します。

❷ [USB-CAM30M Series]アイコンをクリックします。
①[スタート] ➡ [マイコンピュータ]の順にクリックします。
➡「マイコンピュータ」が起動します。
②[USB-CAM30M Series]アイコンをクリックします。
➡「USB-CAM30M Series」が起動します。

❸ [新しい画像を撮影する]をクリックします。
➡ 静止画が撮られ、画面下に表示されます。

❹ 気に入った写真が撮れたら、画像を開きます。
気に入った静止画をダブルクリックします。
➡ 選択した静止画が開きます。

❺ 静止画を保存します。
アイコンをクリックします。
➡ 保存のための画面が表示されますので、ファイル名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。これで静止画は保存されます。

Windows 2000/Me/98 SEの場合

❶ カメラを接続します。

❷「イメージング」を起動します。
[スタート] ➡ [プログラム] ➡ [アクセサリ] ➡ [イメージング]の順にクリックします。

> **●イメージングがない場合**
> ①[スタート] ➡ ([設定] ➡) [コントロールパネル]の順にクリックします。
> ➡「コントロールパネル」が起動します。
> ②[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。
> ➡「アプリケーションの追加と削除」が起動します。
> ③[Windowsコンポーネントの追加と削除]をクリックし、[イメージング]を追加します。

❸「ソースの選択(スキャナの選択)」画面を起動します。
[ファイル] ➡ [デバイスの選択(スキャナの選択)]の順にクリックします。
➡「ソースの選択」画面が起動します。

❹ カメラを選びます。
[USB-CAM30M Series]を選び、[OK]ボタンをクリックします。

❺ ①[ファイル] ➡ [イメージの取得]の順にクリックします。
➡ イメージ取得画面が起動します。
撮っている映像が表示されます。
②[撮影]ボタンをクリックします。

❻ 撮影した静止画を保存します。
[ファイル] ➡ [名前を付けて保存]の順にクリックします。
➡ 保存のための画面が表示されますので、ファイル名を入力し、[OK]ボタンをクリックします。
これで、静止画は保存されました。

Macintoshをお使いの場合

1 インストールする

本製品を使うためのソフトウェアを、インストールします。
ここではまだ本製品をパソコンに接続しないでください。

❶ USB-CAM30Mシリーズサポートソフトを CD-ROMドライブに入れます。

❷ [MAC-OSX]フォルダ内の[USB-CAM30M Driver Install.pkg]をダブルクリックします。

USB-CAM30M Driver Install.pkg

❸ 認証画面が表示されたら、インストール権限のあるユーザーの名前とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

❶入力
❷クリック

❹ 以降は画面の指示に従って進めます。右の画面では[閉じる]ボタンをクリックします。

❺ 本製品をパソコンの USBポートに接続します。

❻ デスクトップの[WebCam Monitor]をダブルクリックします。

❼ 画像が表示されれば、インストールは完了です。

※[WebCam Monitor]の使い方や画像の調整などについてはオンラインマニュアル(PDF)をご覧ください。

©2004 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.